

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 2月 1日 (火)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	人	11人

前回の改善計画

基本情報がすぐに目に付くところに無く業務優先になってしまっている。ほとんど伝達事項で済ましてしまうため、資料が目に付きやすい工夫で環境整備が必要になる。

前回の改善計画に対する取組み結果

カルテ棚をすぐ手に取れるところに設置した。
ミーティングノートを作成し、ミーティングの情報の共有ができるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	1		11
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8	1		11
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		8	1		11
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	2		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティングノートの活用にて日々の情報を共有し、ケアにつなげることができている。カルテ棚をすぐに見られる様に環境を整えたことで、薬や既往歴などわからない部分をすぐに確認し、問題解決までの時

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
初回フェースシートが十分に活用されておらず、職員間での情報量の差があった。そのため、本人、家族の困りごとに対して関わりが統一ではないことがあった。ミーティングノートで共有する情報が多く、時間の経過にて忘れられてしまい継続したケアができていないこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新規利用者のだけの個別ファイルを作成し、その都度職員が追記。関わりの中で知り得た情報をミーティングで共有するだけでなくカルテにも書き込み、情報の更新を行い継続したケアにつなげていく。

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	7人	1人	11人

前回の改善計画
コロナ対策として消毒、手洗いを徹底する。コロナ対策が出来ている場所などを調査し外出先を抽出したり、共有コミュニティスペースを上手く活用できる工夫をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
マスク着用、手洗い、アルコール消毒を行い感染対策に努めている。感染対策をしてバラ園、朝倉氏遺跡、一乗滝などへ外出したり、調理、畑仕事、買い物支援、なじみの店への行くための支援ができた。共有コミュニティスペースでは健康体操をしたり、動画・映画鑑賞、将棋、習字などが出来るよう環境を整えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	7		11
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	7		11
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	8		11
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	8		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人との会話の中から好きなことや「～したい」ことを聞き取り、支援することができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 目先の出かけたい、○○食べたいなどに対する支援はできていても、『こうなりたい・～したい』という利用者自身の自己実現の目標を引き出せていない。在宅での生活を継続していくための継続した支援ができていない。 発語がない、思いが伝えられない利用者に対して「～したい」の把握が難しく、支援できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 「～したい」を本人から引き出せるよう会話を持ち、ヒントを見つける。担当者会議に出席し家族との信頼関係を深め更に本人を知る事で「～したい」が実現できるよう支援していく
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 2月 1日 (火)

3. 日常生活の支援

メンバー 高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	人	11人

前回の改善計画	
ICT 介護記録の記入が全員で出来るようにする。人任せにしない。ケアマネと担当スタッフと話し合い情報共有を密にする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新システムの電子カルテであるケアコラボの操作は全職員がマスターし、日々の利用者の記録を入力することができている。他の職員が書いた記録を見ていないことで情報の共有ができていないことがある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	6	4	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	7	2		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	6		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティングは毎日行い情報、支援方法の共有をしている。そこでの気づきから、意思疎通が困難な利用者に対して風呂や食事などのイラストを使用しコミュニケーションをとることができた。	
できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らしより現在の支援に着目してしまい、できるはずの本人の能力を把握できていない。休みなどで利用者全員の記録を読むことができないと情報の共有ができず残存能力を生かすケアができていない。	
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
以前の暮らしをカルテのフェースシートに記載する。残存能力を見極め、アセスメントシートの見直しを行い統一したケアができるよう情報共有する。勤務開始前に記録を読み情報の共有に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式
4. 地域での暮らしの支援

実施日	令和 4 年 2 月 日 ()
メンバー	高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	8人	人	11人

前回の改善計画
軒下マップを使用して地域資源の具体的把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
一人暮らしの方の民生委員、近所への関係作りはできたが、軒下マップの作成ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	3	7		11
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	1	3	7		11
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	1	9		11
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	9	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人、家族から知人、近所の情報を聞き、お会いした時には挨拶し会話を通して情報収集した。一人暮らしの方の民生委員への協力依頼ができた。なじみの店へ訪問し緊急時の連携を構築できた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 交友関係、自宅での生活について把握できていないため、軒下マップが作成できなかった。また、地域の方から聞き取りができなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 定期的に本人、家族との話し合いを設け本人の生活スタイル、交友関係を知る機会を持つ。軒下マップ、24時間シートなどを活用し、本人の役割や生きがいを理解する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式
5. 多機能性ある柔軟な支援

実施日	令和 4 年 2 月 1 日 (火)
メンバー	高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	1人	11人

前回の改善計画

軒下マップを使用して地域資源の具体的把握に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

なじみの店、民生委員との連携構築、配食サービスの活用ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	6	3	11
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		10		1	11
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		8	2		11
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		9	2		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者、介護者の状態に合わせて訪問・通いを柔軟に行うことで一人暮らしでも自宅で過ごすことができている。なじみの店、民生委員、隣人、友人との連携構築、配食サービスの活用、GPSの活用提案ができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人、家族、近所の方から聞き取りをして情報収集したが、コロナ禍の状況の中で利用者と地域の方が直接お会いし、一緒に過ごすというような支援に繋がらなかった
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 軒下マップ、24時間シートなど様々なツールを使いながら、利用者を取り巻く環境の把握を行い活用していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式
6. 連携・協働

実施日	令和 4 年 2 月 1 日 (火)
メンバー	高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	4人	11人

前回の改善計画

コロナのワクチンが出来るまでは感染リスクを鑑み、人が多く集まる場所への参加は今後も控えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ワクチン接種、マスク手洗いなどの感染対策を行い事業所単位での外出はしているが、人が多く集まる地域行事への参加はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	6	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		4	3	3	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	4	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？				11	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 感染対策をして神社の清掃、畑仕事などには時間差、少人数で参加した。また医療関係に定期的に報告し、一人暮らしの方への往診に同行するなど連携を図ることができた。包括支援センターなどの会議にはリモートで参加し、情報共有できた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 3 密となるような地域行事などは中止になる事が多くあり、参加できなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 新型コロナウイルス感染症対策をしながら地域活動に参加し、畑仕事や神社での活動を継続し地域社会と繋がる機会を持つ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式
7. 運営

実施日	令和 4年 2月 1日 (火)
メンバー	高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	1人	11人

前回の改善計画
十分なコロナ対策を構築し地域の方との交流が再開できるように努める
前回の改善計画に対する取組み結果
畑作業、神社清掃を通して地域参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言う ことができているですか?	1	6	2	2	11
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に 反映していますか?	1	5	3	2	11
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映してい ますか?	1	3	4	3	11
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的 に地域と協働した取組みを行っていますか?		6	2	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 今年度はケアマネだけでなく、担当職員が家族とのケア会議に出席し、本人、家族の思いを聞き取るなど、関係性の構築を深めることができた。ミーティングにて意見、苦情について共有し、早期に解決するよう努めた。畑活動を希望する利用者と地域の方の調整役になり、交流ができた。
できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前のように地域の方にお会いする機会が減少し、困りごとが把握できていない。勤務体制などから関わりの機会がもてなかった職員もおり、どのように関わり情報を得るか、問題課題である。
次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 継続して担当職員も同席しケア会議を行い、家族との困りごとの把握、解決に努める。地域の行事や、畑、神社などそれらの関わってくださる地域の方を知る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 2 月 1 日 (火)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	4人	2人	11人

前回の改善計画

ミーティングの時は書記が記録をしているが、目を通すだけになっている。自分でメモを取り直し再確認が出来ていないため、更に情報共有が行えるようにしていく必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティング中は話し合う事に集中してしまい、メモを持っていても、メモに書くことがなかなか定着しなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	4	4	1	11
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	6	2	11
③ 地域連絡会に参加していますか		2		9	11
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	4	1	11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内の研修については全員が行えており、レポート提出することで知識の定着化を図っている。職場外研修は個人差があるがそれぞれ資格取得しており、スキルアップ向上への意欲が見られる。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ミーティングでヒヤリハットを共有しているが、有効的な再発防止のための対策が実施していないことで介護事故（生命の危険がないレベル）が起きている

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

勤務の調整を行い事業内外での研修に参加できるようにしていき、更にスキルアップ向上も図っていく。ヒヤリハットの対策をその日のうちに行情報を共有し、再発防止策に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式
9. 人権・プライバシー

実施日	令和 4年 2月 1日 (火)
メンバー	高木、北倉、北川、小山、村田、堀、南、宮下、夏梅、大橋、吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	5人		人	11人

前回の改善計画

「成年後見制度」については殆どの職員は知識がなかった。今後勉強会を開催し、活用していきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

成年後見人制度についての学習会ができていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2			11
②	虐待は行われていない	7	4			11
③	プライバシーが守られている	6	5			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	3	5	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	8		1	11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
虐待、身体拘束の学習会に参加しており、どういったことが虐待、身体拘束になるのかを理解している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人制度について個人で学習のみになっており、職場内での学習会ができていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

担当を決めて成年後継人制度についての学習会を開催する。虐待、身体拘束についての学習会の開催を継続する。(介護事故委員会にて)